

Kanazawa Cultural Resource Studies

No. 22

The Exchange Meeting of Research for Technique of Mural Painting

edited by

NOZOMU ETO, MASA AKI OMURA, HIROFUMI SUGAWARA

金沢大学 文化資源学研究 第22号

金沢大学人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター



文化資源学研究

第22号

壁画技法研究交流会

江藤 望・大村雅章・菅原裕文 編



Center for Cultural Resource Studies

Institute of Human and Social Sciences, Kanazawa University



金沢大学人間社会研究域附属
国際文化資源学研究センター

壁画技法研究交流会

江藤 望・大村雅章・菅原裕文 編

金沢大学人間社会研究域附属
国際文化資源学研究センター

The Exchange Meeting of Research for Technique of Mural Painting

edited by

NOZOMU ETO, MASA AKI OMURA, HIROFUMI SUGAWARA

Center for Cultural Resource Studies
Institute of Human and Social Sciences, Kanazawa University

はじめに

ルネサンス以前における壁画の描画技法の研究（壁画技法研究交流会）について

金沢大学人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター
形態文化資源部門 ヨーロッパ・ユニット
江藤 望・大村雅章・菅原裕文

本報告書は、2018年3月15日に石川四高記念交流館で開催された第25回文化資源学セミナー、「ルネサンス以前における壁画の描画技法の研究（壁画技法研究交流会）」をまとめたものである。同セミナーは、金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター主催であり、形態文化資源部門のヨーロッパ・ユニットが企画と運営を行った。セミナーでは各専門分野からエキスパート3名のゲスト講師を招き、それぞれの研究について講演を頂き、講演後に意見交換を行った。

最初は工藤晴也氏（東京藝術大学・教授）が、演題「モザイクの表現技法と保存修復について」研究成果による発表を行った。工藤氏は壁画研究の第一人者であり、特にモザイクが専門であり、イタリアの在留期間が長い。世界遺産であるイタリア東部ラヴェンナの街での修復活動は記憶に新しい。5世紀に建てられたガッラ・プラキディア霊廟の研究者でもある。

2番目に講演頂いた紀井利臣氏（跡見学園女子大学・准教授）は、板絵テンペラ画の研究者として、専門著書を出版されている。演題はテンペラ画の全盛期として「ゴシック期の板絵テンペラ画技法」についてで、講演後にゴシック期という大きな美術史の流れの中で、技法と材料に焦点をあて情報交換した。また、氏のコレクションである、珍しい顔料やロシアアイコン、装飾見本なども実際に会場で披露され、参加者を魅了した。

最後は佐藤一郎氏（金沢美術工芸大学大学院・大学院特任教授）にお話し頂いた。氏は長年、東京藝術大学教授として、主に絵画技法・材料について教鞭を取られ、多くを指導者育成に努められた。技法に関する著書も多数で、ご退職後、大学院特任教授として、現在、金沢美術工芸大学に在職中である。演題は「キジル石窟壁画の材料・技法の研究」で、近年の研究成果を報告された。

3人のゲスト講師の共通点は、戦後に生まれで、いずれも東京藝術大学絵画科油画専攻の卒業生である。つまり、研究者でありながら、表現者としても作品を造り、発表するという芸術家の3人でもある。今回の研究交流会では、研究者の目だけではなく制作する側からの視点からも考察する事にお三方を講師として招聘した大きな意義がある。なぜなら、美術史に名を馳せる名作を残した者は多くが表現者であったことには間違いのないからである。このような壁画技法についての研究交流会が、本セミナーの真の狙いとなれば理想だと思っている。

なお、本報告書には形態文化資源部門のヨーロッパ・ユニットメンバーの現在進行している研究の報告もあわせて収録した。ご一読いただければ幸甚である。

目 次

| | |
|---|-----|
| はじめに | i |
| 目 次 | iii |
| 1. モザイクの表現技法について 工藤晴也 | 1 |
| The Mosaic techniques and restoration Haruya Kudo | |
| 2. ゴシック期の板絵テンペラ画技法 紀井利臣 | 11 |
| The Gothic Tempera technique Toshiomi Kii | |
| 3. キジル石窟壁画の材料・技法の研究 佐藤一郎 | 23 |
| The Technique and materials of Kizil caves Ichiro Sato | |
| 4. シエナ派のフレスコ画におけるストゥッコと金属箔の技法 江藤 望 | 31 |
| Techniques of stucco and metal foil in fresco of Sieneese school Nozomu Eto | |
| 5. テンペラ画における石膏地盛り上げ技法の調査報告 -カルロ・クリヴェッリの作品から- 大村雅章 | 45 |
| Technique of Making Pastiglia in the Tempera From the painting of Carlo Crivelli Masaaki Omura | |
| 6. 写真測量法によるカッパドキア・ギョレメの岩窟聖堂の3Dモデル作成とヴァーチャル修復の手法 菅原裕文・樋口 諒 | 57 |
| Photogrammetric 3D Modeling of Rock-cut Churches in Cappadocia, Turkey, and Methods of Virtual Restoration. Hirofumi Sugawara, Ryo Higuchi | |
| 交流会の記録 | 67 |
| 1. 会場の写真 2. 広報用フライヤー | |
| 編集後記 | 69 |
| 執筆者プロフィール一覧 | 70 |